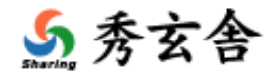


Corporate Profile 2011



2011.3



Vision



20世紀初頭、アーサー・アンダーセンは、会計士という仕事をそれまでの帳簿係から、企業の戦略立案に有効なコンサルタントとしての可能性を開きました。それは、会計という仕事が、企業の全ての業務を俯瞰しうる立場にいたからです。

21世紀のITコンサルタントは、まさに同じ理由で、企業参謀になりうる可能性をもっています。製造業や流通業における計画や物流/情報の流れ、サービス業におけるノウハウや知識/情報の共有は、今やIT無しには語るできません。

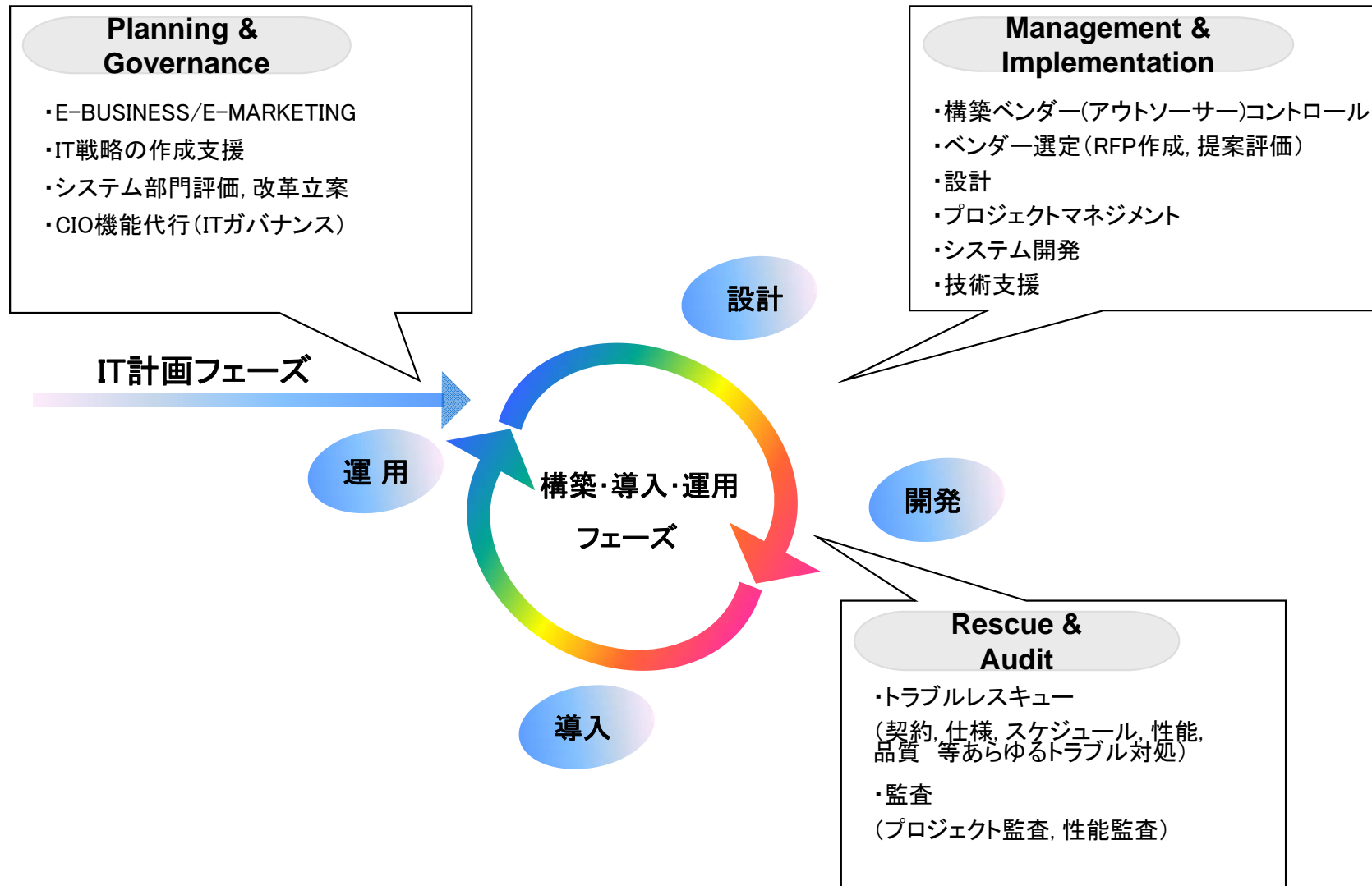
しかし、ITコンサルタントが有効な企業参謀となるには、必要な資質と環境があります。

スキルが実践的であること、そして独立性を保証されていること、です。

秀玄舎は、ITにおける専門性だけではなく、お客様(パートナー)のビジネスに対する理解力を備えた「専門型ゼネラリスト」として、実践的なスキルを提供します。

また、ITベンダーと、ではなく『お客様(パートナー)』とゴールを共有(sharing)する独自の環境設定によって、真に有効な企業参謀としてプロジェクトとビジネスに成功をもたらします。

Service Map



“Sharing”

秀玄舎は、プロジェクトを成功に導く実践的スキルを提供するために “Sharing” をコンセプトにしています。

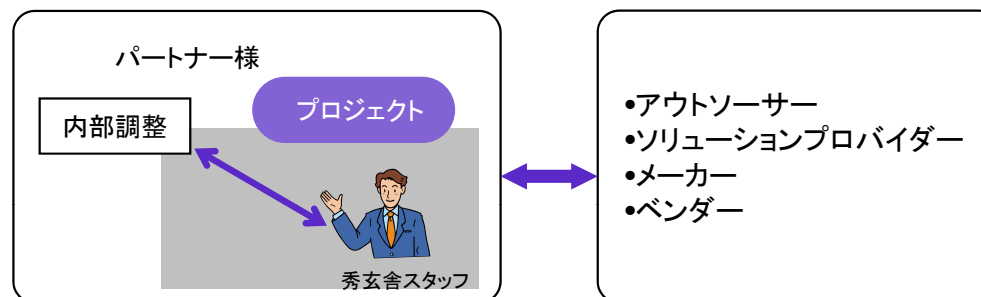
□ Goal Sharing

秀玄舎では、顧客を「パートナー」と呼びます。
パートナーとして同じビジネスゴールを共有するために、
独自のワークスタイルを採用し、
リスク・リターンを共有することで、本質的なパートナーを目指しています。

- On Site Working
- 時間単金 + 成果報酬
- 非仲介契約
- Accountability (報告・情報共有)

□ Practical Skill Sharing

秀玄舎では、机上の空論ではなく、実践的なスキルをパートナーと共有するために、
独自のナレッジマネジメント手法を採用してパートナーとプロジェクトを形成します。



Service: Planning & Governance

秀玄舎では、多くのITプロジェクトへのコンサル実績と、様々な業種のパートナー(お客様)との取組み経験をもとに、パートナーのIT投資に関する戦略立案・企画を強かに支援しています。

また、短期～中期のIT投資計画だけでなく、パートナーのIT部門に対するコンサルティングや、投資評価や投資決定プロセスについてのご相談も承っております。

CIO 支援/ CIO 機能の実装

本業競争力にIT投資が重要な位置を占める今日のビジネス環境において、単なる「コンピュータ資産管理部門」としてのIT部門ではなく、経営戦略の一翼を担うCIO機能の実装は組織の重要な課題です。

秀玄舎では、既存情報システム部門をどのように改革(または新たな現場出身のCIOを育成)し、CIO機能を育成する支援コンサルティングを実施しています。

既存情報システム部門の改革、CIO候補の採用または発掘、CIO機能の社内定義や育成などを通じて、組織のIT戦略機能を強化し、ITガバナンスを実装します。

SSS: Skill Sharing Service

「選択と集中」の時代に、革新を続けるITに関する技術者を社内で育成・維持することは必ずしも本業に寄与するとは限りません。

秀玄舎はそうした企業のニーズにこたえるべく、情報システム部門のバッファとして、リソースと技術支援を実施し、「企業にとって都合のよい外部システム部門」として機能します。

必要な時に必要なだけのスキルをご利用いただける、まさに Skill をシェアするサービスです。

IT 投資改革 (意思決定プロセスの見直し、投資効果の評価スキーム導入)

従来の情報システム部門単独による年度単位のIT投資は、継続性・客観性に欠け、多くの経営層から不信を抱かれる原因となっています。

IT投資の成否が現場本業の成否に大きく影響する昨今、継続的なIT投資評価、現場部門を巻き込んだIT投資決定プロセスの実装は欠かせません。

秀玄舎ではヒアリングとケースメソッドを中心としたアプローチで、パートナー組織に最適な投資プロセスを構築し、IT投資の効果改善を具体的に実現しています。



Service: Management & Implementation

プロジェクトの成否は、プロジェクトマネジメント(PM)にかかっているといえます。どんなに優れた技術も計画も、優れたPM抜きには何の効果も得られません。

PM専業会社として発足した秀玄舎のプロジェクトマネジメントは、地味で着実なマネジメントの積み重ねにより、多くのプロジェクトを成功に導いています。

プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメントに必要なのは、マネジメント・ノウハウ(方法論)、豊富な経験、そして広範な知識です。

リスク管理・コスト管理といった標準的なPMノウハウだけでなく、パートナー(お客様)業務を含めたプロジェクトニーズを素早く吸収することのできる秀玄舎のプロジェクトマネージャーが、数々のプロジェクトを成功に導いています。



ベンダーコントロール (RFP作成, ベンダー選定・評価, プロジェクト評価)

いまやどのシステム構築も、外部ベンダーの活用無しには始まりません。ところが全てのベンダーが必要な機能を果たしているとはいえません。プロジェクトが本業のビジネスに重大な影響があるならば、外部ベンダーを効率的かつ厳正に管理する必要があります。秀玄舎では、ベンダーの選定(そのために必要な要件書:RFPの作成、提案の評価)から、作業中のベンダーの品質管理におけるノウハウを提供しています。



システム導入 (開発・テスト, 導入計画/実行)

秀玄舎では豊富なプロジェクト経験を生かした、システム開発も行っています。特定のソフトウェアやプラットフォームに依存しない技術力を備え、市場のあらゆるIT製品をインテグレート対象とすることができます。

コンサルティング経験に裏打ちされた確かな設計と成果物により、一時的な投資効果だけでなく、拡張性や安定性に優れたシステムを構築しており、安価では無いにも関わらずシステム開発におけるリピートオーダー率は90%を超えています。



Service: Rescue & Audit

残念ながら、多くのシステム導入プロジェクトは、かなりの確率でトラブルを抱えています。
秀玄舎は「他のベンダーが担当したプロジェクトでもトラブル解決を請け負う」ことのできる国内唯一の企業です。
一度トラブルが発生してしまった以上、経営判断を含めたあらゆる施策を検討する必要があります。秀玄舎ではその検討に必要な技術・説明責任・ノウハウを提供しています。

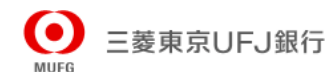
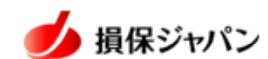
トラブルレスキュー

トラブルレスキューのゴールは、必ずしも「当初の予定どおりにシステムが完成すること」ではありません。
重要なことは、システム計画のスタートに立ちかえて、プロジェクトの目的を把握し、そのために必要なシステムの機能を絞り込むこと かもしれません。

秀玄舎ではプロジェクトの現状(リソース、課題、コスト、スケジュール、リスク)を理解・把握し、プロジェクト本来の目的を把握したうえで、必要な施策(技術的施策、人材的施策、投資的施策、運用的施策)を総合的に判断し、提言し、実践を支援しています。

どのシステムベンダーも「よそのプロジェクトの面倒は見れない」と言うはずです。

なぜ秀玄舎にそれができるのか？ それは、確かな技術スキル、広範な業務ノウハウ、経営に対するアカウントビリティの全てを活用した、Planning, Governance, PM のサービス実績をもっているからです。



システム監査 (性能監査, プロジェクト監査, 納品物監査)

問題が発生した場合、まずはじめに把握すべきは「問題の原因は何か？」ということです。

問題の原因を把握することで、対処のためのコスト(費用と時間)を想定することができ、はじめて対処すべきかどうかの判断ができるのです。

秀玄舎では、システムが抱えるトラブルの原因、難航するプロジェクトのボトルネック、係争に発展しそうなベンダー成果物の評価、など、ITを活用する様々な場面において、問題解決の第一歩となる「問題点の特定＝監査」をサポートしています。

事例紹介-1 Planning & Governance

1.1 「IT投資の最適化」

- IT投資コンサルティングと情報システム部門の改革
 - ニーズ
 - 年間6億円に上るIT投資は効果をあげているのか？ 削減の余地はあるのか？
 - 情報システム部門はビジネスにどれほど貢献しているのか？ 改革の余地はあるのか？
 - 秀玄舎の役割
 - 投資および意思決定の現状調査および報告書の作成
 - IT投資の最適化案(コスト運用の変更、コスト費目別の具体的削減案、効果測定指標の設計等)
 - 情報システム部門改革案の作成

<Project Profile>

Partner: プロフェッショナル型サービス業(社員数1500人)
Project: TCO削減と新IS戦略策定プロジェクト
Roll: 現状調査、課題の分析と対策の立案

1.2 「既存業務にITを組みこんだ提案」

- ITを利用した事業計画の作成・実行支援
 - ニーズ
 - 売上を物品の再販に頼っていた大手商社が、企業に対して付加価値を提案していく過程で、ITのスキル(ITを活用した新規事業形態及び業務内容を把握できるPM)が不足している。
 - 秀玄舎の役割
 - 某コンビニチェーン向けに共同購買・SCM会社を設立するにあたって必要な事業計画書の作成及びIT実装計画の作成
 - 他コンビニチェーンの動向調査
 - 実装する際のシステムベンダー選定(RFPの作成・提案精査・コスト管理)

<Project Profile>

Partner: 大手商社(売上高約2兆円以上)
Project: コンビニチェーン向けSCM会社設立
Roll: JV事業提案支援(SCM実装計画作成・市場動向調査・ベンダー選定)

事例紹介-2 Management & Implementation

2.1 「大規模プロジェクトのユーザー側PMO支援」

- システム導入・PMO支援
 - ニーズ
 - 3年間数百億円を投じたシステム導入におけるユーザー側PMO支援
 - 秀玄舎の役割
 - プロジェクトマネジメントにおける各管理プロセスの整備と実施(PMBOKベース)
 - コンサル系外部ベンダーコントロール
 - その他、プロジェクト運営支援

<Project Profile>

Partner: 通信会社(社員数2500人以上)
Project: 新CRM/請求管理システム構築
(プロジェクト構成要員:約500人)
Roll: 外部ベンダーコントロール
プロジェクトマネジメント管理プロセス整備/実施
PM支援

2.2 「複数プロジェクトが並行する商用システムの全体PM」

- システム構築プロジェクト・PM代行
 - ニーズ
 - 複数プロジェクト開発PM代行
 - 体系だったプロジェクト進行及び運用基盤整備
 - 複数開発ベンダーの管理
 - 秀玄舎の役割
 - 複数プロジェクトのPM(スケジュール立案、コスト調整、問題対応、品質管理)
 - プロジェクトに関わる多くのプレイヤーとのコミュニケーション調整
 - ベンダーコントロール(仕様説明、ベンダー同士のインターフェース調整、スケジュール管理、導入調整)

<Project Profile>

Partner: 携帯・音楽コンテンツ配信最大手(社員数100人)
Project: 音楽配信・キャリア別新サービスインフラ構築
及びレコード会社向けサービス・インフラ構築
Roll: システム導入PM(他部門との仕様管理、スケジュール、
コスト、課題管理、ベンダー管理)

<システム構成概要>

- ✦ OS: Linux, Solaris
- ✦ APサーバ: Tomcat
- ✦ DB: Oracle9i, Powergres
- ✦ 開発言語: JAVA
- ✦ 総サーバ数: 100台以上

事例紹介-3 Rescue & Audit

3.1-「開発済システムの性能課題対処」

- システム監査・トラブルレスキュー
 - 問題
 - 構築したシステムの性能が悪く、運用に耐えられない
 - 性能問題の原因究明、改善施策立案、施策実行を行なうことのできる人材がない
 - 秀玄舎の役割
 - 性能問題の原因究明
 - 設計／開発上の問題調査
 - 性能改善施策の立案
 - 施策対応支援

<Project Profile>

Partner: 大手人材広告業 (社員数4000人以上)
Project: 人事目標管理システムASPサービス構築
Roll: 性能問題原因調査、システム設計精査
施策提案/報告、施策対応支援

<システム構成概要>

- ◆ OS: HP/UX
- ◆ APサーバ: OracleAppServer
- ◆ DB: Oracle8i
- ◆ 開発言語: JAVA

3.2-「ゴールだけ定められた大規模プロジェクト」

- システム監査・トラブルレスキュー
 - 問題
 - システム開発を取り仕切るプロジェクトマネージャーが不在
 - リリーススケジュール先行(リリースまで残り4ヶ月)
 - 開発を行なうために必要な要件及び設計が進んでいない
 - 秀玄舎の役割
 - システム開発全体のPM (スケジュール立案、コスト調整、問題対応、ベンダー選定、見積もり精査)
 - 要件／設計の取り纏め (基本設計書作成、DB論理設計、機能設計の精査ドキュメント整備)
 - ベンダーコントロール (仕様説明、ベンダー同士のインターフェース調整、スケジュール管理、障害管理、導入調整)

<Project Profile>

Partner: 某大手銀行 (社員数15000人以上)
Project: 会員向けASPポータルサイト
(全開発規模100人月以上、ベンダー8社)
Roll: システム開発PM、システム設計、DB論理設計、
ベンダーコントロール、システム導入支援

<システム構成概要>

- ◆ OS: AIX, Solaris8, Windows2000
- ◆ APサーバ: WebSphere+Portal
- ◆ 検索エンジン: BizSearch
- ◆ DB: Oracle8i, IBM LDAP
- ◆ 開発言語: JAVA, PHP
- ◆ 総サーバ数: 14台

事例紹介-3 Rescue & Audit

3.3- 「稼働直前の本質的課題」

- システム監査・トラブルレスキュー
 - ニーズ
 - 2.5億円を投資し、2年間にわたって構築してきた配送計画・管理システムの構築ベンダーが、納品不可能を突如表明 ⇒ 稼働可能資産の見極めと緊急稼働システムのスコープ設計
 - 既存開発資産をできるだけ活用した新たな要件定義
 - 秀玄舎の役割
 - 開発を放棄した構築ベンダーの納品物を監査し、業務要件との整合性チェック、実現性、完成度・品質管理し、緊急稼働システムの実現案を作成
 - 改めての要件定義 及び構築プロジェクトマネジメント (構築ベンダーのコンペマスター・RFP作成)

<Project Profile>

Partner: 運送業
Project: 受注・配車・実績管理システム
Roll: システム監査
レスキュー計画作成
新規システム要件定義・コンペマスター・構築PM

<システム構成概要>

- ✦ OS: Windows2000
- ✦ DB: MS- SQL server
- ✦ 開発言語: VB, VC
- ✦ その他: ホスト連携

Profile & History

■ Profile

- 会社名 株式会社 秀玄舎
- 代表取締役 杉山 仁志
- 所在地 東京都 千代田区 九段南 3-4-5
- 資本金 2,500万円 (発行済株式=500株)
- 従業員数 13名(2011年3月現在)
- 売上高 約1.5億円 (2010年度12月期 決算実績)

■ History

- 2001年3月 設立(港区南麻布)
- 2001年4月, 2003年5月 第三者割当増資(2010年12月現在:株主数18人)
- 2004年9月 本社移転(千代田区九段南)